

令和6年度 第3回富土地域医療協議会 議事録

日時：令和7年2月12日（水）

午後6時30分～午後7時

場所：インターネットによるWEB会議

1 出席者

別添出席者名簿のとおり

2 議題

○協議事項

- 1 在宅医療に係る積極的な役割を担う医療機関について

○報告事項

- 1 感染症指定医療機関の見直し
- 2 結核病床数の見直し
- 3 静岡県保健医療計画に記載する医療連携体制を担う医療機関の変更
- 4 医師数等調査結果

○その他

- 1 令和7年度新規事業（医師偏在対策強化）

3 配布資料

（資料1）富士在宅医療圏における積極的医療機関について

（資料2）ふじのくに感染症管理センターからの報告

（資料3-1）静岡県保健医療計画に記載する医療連携体制を担う医療機関の異動

（資料3-2）二次救急輪番病院の拡充について

（資料4）静岡県医師数等調査の結果について

【司会】

本日は、皆様お忙しい中、御出席いただき誠にありがとうございます。定刻になりましたので、令和6年度第3回富土地域医療協議会を開催いたします。私は、司会を務めます富士保健所医療健康課長の若松と申します。本日の出席者の御紹介は、出席者名簿に代えさせていただきます。なお、本日の会議は公開となります。資料と議事録は、後日、ホームページにおいて公表予定でございます。御承知おきくださいますようお願いいたします。

それでは、議事に入ります。地域医療協議会議長の保健所長に進行を代わります。

【伊藤保健所長】

保健所の伊藤でございます。本日は大変お忙しい中ご参加いただきましてどうもありがとうございます。今回の地域医療構想調整会議は書面協議とさせていただきましたため、本日は地域医療協議会を単独で開催させていただきますのでどうぞよろしくお願ひいたし

ます。また次第とは異なりますが、他の圏域でも同日同時刻に地域医療協議会を開催しております関係で、報告事項から始めさせていただきたいと思えます。

それでは報告事項の1と2を続けて県庁の感染症対策課から説明をお願いいたします。

【感染症対策課 竹田課長代理】

県感染症対策課課長代理武田でございます。1つ目感染症指定医療機関の指定状況についてでございます。改めてですが、県では感染症法および国の通知に基づきまして指定医療機関を指定しております。一覧の通り第一種が県内で1ヶ所2床、第二種は2次医療圏ごとに人口に応じて10ヶ所、46床が現状確保されております。国の指定基準はご覧の通りでございますけれども、知事の判断で基準を超えて指定ができるということになっております。次に見直しの必要性でございます。新型コロナの対応を踏まえまして、次の新興感染症の発生時にいわゆるステージ0の段階から重要な役割を担っていただく感染症指定医療機関の対応力の強化を図るために、関係医療機関のご意向を伺いながら追加で指定を行うことといたしました。次に見直しの方針でございます。新型コロナ対応において小児の医療提供体制が課題になったことから、小児の重症感染症患者への対応強化のため全県を対象とした医療機関として、県立こども病院を新たに指定することといたします。2つ目でございます。現状、基準病床が充足していない静岡圏域における追加指定について現在関係医療機関と調整をとっているところでございます。3つ目、志太榛原圏域、これは人口40万人を超える大きな圏域ということになりますけれども、こういった中で症状に応じた患者の受け入れの役割分担を行って、医療逼迫を回避するという目的のため、藤枝市立総合病院を新たに指定をいたします。駿東田方圏域においては裾野赤十字病院から辞退の申し出があったため、静岡医療センターを新たに指定することといたします。見直した結果、第一種は2床のまま変わりませんが第二種が46床から51床に増えることとなります。医療機関ベースでいいますと10機関から13機関に増えることによって医療提供体制が充実するということとなります。スケジュールはご覧の通りです。今年度から来年度にかけて必要な手続きを経て指定をしまいるということになっております。また適時適切に皆様に必要なに応じて報告を申し上げます。1つ目については以上でございます。

続きまして、結核病床の見直しについてでございます。現行の保健医療計画における結核基準病床数は56となっております。これに対して現状では許可病床で92、加えてモデル病床では10ということになっております。こういった中、各医療機関にご意向を確認した結果が表の通りということになっておりますけれども、当該地区の富士市立中央病院様からは、病院の建て替えがあるので新病院の開設に向けて結核モデル病床の導入を含めて検討しているということをご回答をいただいております。県立総合病院においては、現在結核モデル病床の導入に向けて改築をし、完成後には同数の許可病床の減少を予定しております。島田市立総合医療センター様は現状維持でございます。天竜病院様は8床の結核病床を休床されるご予定。聖隷三方原病院様は結核許可病床の6床の減床ということで伺っております。これらのことがありましても、許可病床とモデル病床を合わせて十分な数の病床が確保されていると考えております。スケジュールでございます。割愛しますがご覧

のような手続きで進めてまいります。当センターからの報告は以上でございます。

【伊藤保健所長】

この件につきまして、どなたかご質問やご不明な点などございますか。

特によろしいようでしたら、報告事項の3番目、静岡県保健医療計画に記載する医療連携体制を担う医療機関の変更について、事務局、その後富士市さんの方からご説明の追加をお願いいたします。

【事務局】

資料3-1をご覧ください。静岡県保健医療計画に記載の医療機能を担う医療機関については、それぞれの機能ごとに当該医療機関等の名称等を医療政策課ホームページにおいて公表しております。今年度の調査の結果、変更の必要が生じたので、今回議題として提出をしております。がん、脳卒中、精神疾患、周産期医療、救急医療において、それぞれ新たな医療機関の追加削除がございます。なお、(6) 救急医療の第2次救急医療を担う医療機関については、現在4病院に担っていただいておりますが、令和7年4月から新富士病院と富士整形外科病院が追加になる予定です。このことにつきましては富士市さんの方から、背景等について説明をよろしくお願いいたします。

【富士市増田保健部長】

富士市保健部長の増田です。よろしくお願いいたします。私からは2次救急輪番病院の拡充についてご説明いたします。資料3-2をお願いいたします。背景ですが、富士市内の2次救急医療体制は、現在、富士市立中央病院と川村病院のみで輪番を支えている大変脆弱な状況となっております。市としては参加病院を増やすことを喫緊の課題と捉え、かねてから私的病院への相談を進めてまいりましたが、今回大変ありがたいことに、新富士病院と富士整形外科病院の2病院から参加の意思を示していただいたため、実施に向けた調整を開始いたしました。輪番病院の拡充ですが、2病院との協議の結果、令和7年度からの輪番参加への体制整備のめどが立ったことから、資料に記載しました関係者へ意見照会を行い、輪番参加は妥当であるとの意見が得られました。参加医療機関の概要ですが、新富士病院の二次救急医療体制は、診療科は70歳以上に限定した内科系外科系、輪番予定は第3金曜日の月1回、救急専用病床数は5床となっております。富士整形外科病院の2次救急医療体制ですが、診療科は整形外科、輪番予定は第3水曜日の月1回、救急専用病床数は2～3床となっております。本年4月より2病院の2次救急輪番が開始される予定ですので、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。まずは2病院ともに、月1回からのスタートとなりますが、今後も参加医療機関の充実や当番日の増など、輪番体制の拡充に向けての検討を継続してまいります。説明は以上です。よろしくお願い致します。

【伊藤保健所長】

ありがとうございました。こちらの件につきましてどなたかご質問などございますか。

せっかくの機会ですので新病院の木島先生が委員で入られておるとお思いますので、もしよろしければ何かご不明な点ですとかご不安などございましたらお一言いただけますでしょうか。

【新富士病院長 木島委員】

新富士病院の木島でございます。当院は数年前から救急の方を受けさせていただいておりまして、年間200台程度を受けさせていただいてるんですけども、今のところ整形外科は別といたしまして、大体95%ぐらいは高次病院に搬送することなく当院でそのまま診させていただいているという状況から、多少なりとも地域に貢献ができればというところで体制を考えてまいりました。これを提出させていただいた後に、市といろいろ協議をしまして、火曜日に変更させていただいて、人員の配置をどのぐらいにしたらいいかというのを試しに月1回ずつ、7月あるいは9月ぐらいからは少しずつ週を増やして行って、1週から4週ぐらいまでできるようにならないと中央病院の手助けとはならないんじゃないかと考えておりまして、そういったところに向かって進んでいこうと考えております。以上です。

【伊藤保健所長】

ありがとうございます。病院さんの種類とかによっては救急のために病床を空けておかないではいけなくて稼働率が一時的に落ちたりするのは結構大変だとおっしゃる先生もいらっしゃると思うんですけども、その辺はいかがでしょうか。

【新富士病院長 木島委員】

主に地域包括ケア病棟でこちらの救急の患者さんを受けさせていただく、また障害者一般の方でも受けさせていただくんですが、今のところそういった地域包括ケア病棟の性質から、滞在日数が短くなるように在宅にお返しするような体制を整えておりますので、今のところであれば、5床というふうに書かせていただいたんですけども、もう少し受けすることができるんじゃないかと考えております。

【伊藤保健所長】

ありがとうございます。大変心強く思っております。どうぞよろしく願いいたします。他の先生方からこの件に関しましては、よろしいでしょう。

【富士市医師会長 望月委員】

富士市増田部長にお聞きしたいんですけども、以前聖隷富士病院が輪番に入っていてそれが今なくなってしまったんですけど、その後また輪番に入るといようなことを聞いていたんですが、その件に関して市ではどのように把握していますか。

【富士市保健部 増田保健部長】

聖隷富士病院の方も2次救急輪番に復帰する意欲を示してくださっております。今、外科系の先生が充実してきたというところはありますけれども、まだ内科系の方が不十分ということでお伺いしております。医師確保がやはり大事になってまいりますので、そのあたりは私共も聖隷富士病院の方と連携をとりながら、何とか2次救急の輪番復帰に向けて動いてまいりたいと思っております。以上です。

【富士市医師会長 望月委員】

ありがとうございます。よろしく願いします。

【伊藤保健所長】

他の委員の皆様よろしいでしょうか。

続きまして報告事項の4番目医師数等調査に関しまして事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料4をご覧ください。静岡県医療対策協議会の提言に基づき、県内の医師の地域別診療科別の勤務状況を把握することにより、効果的な医師確保対策を行うため、公的病院等に対する医師数等調査については、毎年2回ご協力いただき感謝申し上げます。令和5年10月調査から、病院ごとの診療科別の職員定数、常勤医数、および差し引きにて算出される不足数については、各圏域の地域医療協議会での共有を前提に調査させていただいているところであり、本協議会において本日報告させていただきます。令和6年10月の調査結果につきましては、6ページの通りとなっております。事務局からは以上です。

【伊藤保健所長】

続きまして協議事項の方に入りたいと思います。在宅医療に関わる積極的な役割を担う医療機関について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

資料1の2ページ目をお開きください。県の第9次保健医療計画の在宅医療分野におきましては、在宅医療において積極的な役割を担う医療機関および在宅医療に必要な連携を担う拠点を計画に位置づけ、在宅医療の圏域を設定しております。富士圏域では、令和5年度第2回地域医療協議会において、在宅医療圏を二次医療圏と同じく、富士宮市、富士市を一つの圏域とすることと決定し、連携拠点につきましては、今年度第1回地域医療協議会において、在宅医療介護連携推進事業を実施していただいております富士宮市、富士市とすることを決定しております。また積極的な医療機関につきましては、共立蒲原総合病院、川村病院、富士いきいき病院、トータルファミリーケア北西医院の4ヶ所を決定しております。今回、積極的な役割を担う医療機関に、フジヤマ病院さんからご内諾をいただきましたので、ご協議をお願いいたします。フジヤマ病院の概要については、1ページをご覧ください。事務局からは以上です。

【伊藤保健所長】

本日は積極的な医療機関にご内諾いただきましたフジヤマ病院の根本先生にご出席いただいておりますので、根本先生の方から改めて病院のご紹介などをお願いできますでしょうか。

【フジヤマ病院 根本院長】

フジヤマ病院の根本です。当院は一般病床60床、療養病床50床のケアミックスの病院になっております。現状では急性期病院の後方支援、高齢者を中心にした救急の受け入れ、開業医の先生からもご紹介いただいた患者さんを積極的に受け入れることをしております。また地域包括支援センターとも協力をして、在宅での対応が困難になった患者さんのご相談をいただいた場合は随時受け入れをしているというのが現状です。現在往診は行ってはいないんですけども、地域医療構想における対応方針でお示したように、今後は在宅の訪問診療や往診を行う体制を整えていく努力を行っていく予定であります。今回積極的な医療

機関のお声掛けをいただきましたので、これまで以上に地域の開業医の先生、施設、地域包括支援センター等と連携協力を図り、地域包括ケアシステムの構築に向けて役割を果たしていけるように努めていきたいと思っております。以上です。

【伊藤保健所長】

根本先生どうもありがとうございます。富士市さんの方には既にいくつか手を挙げていただけたところがあったんですけども、富士宮市さんの方では初というところで、大変心強く思っておりますし、富士宮市の保健師さんなどからお話伺う中では、フジヤマ病院さんとはもうすでに患者さんのやりとりをみてもらったりして助かっているというお話も伺っているんですけども、改めてこういったところで位置づけさせていただくというところで、大変心強く思います。この件に関しまして、富士宮市の小林部長よろしければ一言いただきたいんですけども。

【富士宮市保健福祉部 小林部長】

富士宮市の保健福祉部長の小林です。富士宮市につきましてはやはり富士医療圏の中でも病院が少ないという状況がございます。そういった中で今回のフジヤマ病院さんに積極的医療機関をお引き受けいただいたということは大変心強く感じておるところでございます。市としましても、連携拠点としまして今後もしっかり連携させていただきたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。以上です。

【伊藤保健所長】

そのほかどなたか委員の皆様からご不明な点などございますでしょうか。

こちらの件はご承認ということで承らせてもらいたいと思っておりますけれどもよろしいでしょうか。ありがとうございます。ご承認を承りました。保健所といたしましては圏域内の連携について引き続きの支援などを行ってまいりたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。協議事項は以上となります。

その他というところで、こちらから少しお話がございます。県の令和7年度の新規事業の医師偏在対策強化を私の方からお話させてもらいたいと思っております。お手元には資料の準備はございませんので画面の共有のみとなっております。県の医師確保事業に関しましてはこれまでと同様、医学修学研修資金を引き続き貸与していくというところは変わらないんですけども、それに加えまして医師が不足する東部地域において新たに複数の取り組みを実施する予定になっておりますのでお示ししたいと思っております。浜松医科大学と連携し東部地域の拠点病院に指導医を派遣する体制を整えて、将来的に指導医と専攻医をセットで派遣し若手医師の育成環境を整え派遣医師数を段階的に増加させていくというところで、浜松医科大学さんにご協力いただきまして来年度進めていきたいと思っております。また、派遣先の病院や診療科などに関しましては、大学に寄附講座を設けさせていただきまして、県と大学の間で協議をして今後決定していくという方向性で今進めております。

また、浜松医科大学では東部地域の病院を連携施設とする病院総合診療医の育成のための体制を構築する準備を今後進めていくところとして、病院総合診療医を育てる環境というのを考えていくといったところになります。

次の小児科医と産婦人科医の養成に関しましては、これまで東部地域におきましては小児科および産婦人科の専門研修のプログラムというものがなかったところなんですけども、こちらは順天堂大学さんに基幹とするプログラムの整備にご協力いただきまして、今後それを進めていくことになっております。

病院総合診療医や小児科、産婦人科のプログラムに関しまして、今後指導医がいる学会認定施設などを中心に東部地域の病院さんにもご協力のお声掛けをさせていただくことがあるかもしれませんので、その際はどうぞご協力のほどお願いいたします。

最後に、病院総合診療医の関係で1点ご案内をさせていただきたいんですけども、県病院協会が主催する病院総合診療医をテーマといたしました地域医療研修会というものを3月3日月曜日の16時から企画しております、また別途ご案内が行くと思いますけれども、ぜひ病院総合診療医というものにご興味がある病院様などございましたらぜひご参加のほどお願いしたいと思います。

その他に関しましては以上になりますけれども、何かご不明な点などございましたら、承りたいと思うんですけども、いかがでしょうか。

【富士宮市立病院長 佐藤委員】

富士宮市立病院の佐藤です。今の医師の偏在の話ですけれども、寄付講座を作って3,000万円ということですけども、これは具体的には派遣される医師へのインセンティブというような予算の組み方なんでしょうか。あるいは大学の方の講座を作るといことのお金なんでしょうか。わかりましたら教えてください。

【県地域医療課】

県庁の地域医療課でございます。基本的には、派遣される医師へのインセンティブということではなくて、大学内での医師派遣の調整業務に係る人を雇うための手当などの予算になります。

【富士宮市立病院長 佐藤委員】

はいわかりました。ありがとうございます。

【伊藤保健所長】

ほかはよろしいでしょうか。

本日のメニューは以上となりますので進行を事務局にお返ししたいと思います。どうもありがとうございました。

【司会】

委員の皆様には貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。以上をもちまして、令和6年度第3回富土地域医療協議会を閉会いたします。本日はありがとうございました。